

関東中学校陸上競技大会開催についての感染症対策

- (1) 大会参加者（大会役員・競技者・審判員・チーム関係者）は日本陸連の陸上競技活動再開についてのガイダンスを遵守する。3密回避・医療関係者常駐・医療用個人防具の準備。
- (2) 主催者は感染症対策を講じて、大会参加者に注意喚起や協力を促す。
- (3) 大会参加者は、大会前2週間の体温計測を含む体調管理表に記入して、引率者は内容を学校同行者体調記録表に記入して大会本部に提出する。大会終了後2週間以内に感染症の疑いのある症状があった場合には、関係機関及び主催者に報告する。
- (4) チーム関係者は、大会申込み時にガイダンス及び感染症対策を十分に理解し、遵守すること誓約するものとする。競技者が会場に滞在する時間を短くなるように、分散での来場・退場、ベンチの取り方、ウォーミングアップや招集の計画等を事前に計画しておく。集団での活動・発声・応援は行わない。
- (5) 競技者は、大会参加に際して参加承諾書を提出し、大会前から終了後まで一切の責任は本人にあるものとする。また、以下を励行する。
 - ・移動中や待機中はマスクを着用する。
 - ・手洗い、手指消毒等をこまめに行う。
- (6) 大会関係者以外の観客等は入場できない。保護者等のスタンドでの観戦時には、検温、連絡先等の記入をする。マスク等は必ず着用し、長時間の滞在はしない。コンコースを含む競技場内は待機場所として開放しない。
- (7) 競技に関する配慮事項
 - ・招集は招集所で短時間で行う。
 - ・競技場内での待機時には十分に間隔をとる。
 - ・競技や試技の前後には手洗いや消毒を行う。
 - ・競技に使用する物（テープ・滑り止め等）は各自で持参する。
- (8) 大会結果は、速報やインターネットサイト及びホームページ等で確認する。

基本注意事項

3密回避（密閉・密集・密接）

感染症対策（手洗い・消毒・マスク着用・換気等）

関東中学校陸上競技大会 新型コロナウイルス感染症予防対策マニュアル

1 大会2週間前からの健康観察の実施

(1) 大会参加者（選手）、引率者、観戦者の健康観察

- ① 体調記録表の記入：大会前2週間から検温、体調記録表をシートに記入
- ② 学校同行者体調記録表の提出：引率者は、体調記録表も基に選手・引率者の体調管理を記入、日毎に大会本部に提出
体調不良の場合の参加は認めない。

(2) 大会役員、指導者、都県スタッフ、観戦者の健康観察

- ① 来場者体調記録表の記入：各自で大会前2週間から検温・体調を記録し、来場者体調記録表に記入
- ② 来場者体調記録表の提出：体調記録を基に来場者体調記録表を記入、大会本部に提出
体調不良の場合の来場は認めない。

2 大会期間中、新型コロナウイルス感染症の発症が疑われる場合の対応



第49回関東中学校陸上競技大会

COVID-19 感染拡大防止対策

関東中学校体育連盟「関東中学校体育連盟新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」並びに（公財）日本陸上競技連盟の「陸上競技活動再開のガイダンス」を遵守するとともに以下の感染症対策についてご理解・ご協力ください。

1. 大会に関わる全ての方の遵守事項

- (1) 感染者、濃厚接触者、感染疑いのある者については参加することができない。
- (2) 大会前2週間の体調チェックを行い、当日の受付で提出すること。当日の検温で37.5℃以上の場合や、感染拡大の恐れのある際には参加及び入場を認めない。
- (3) マスクの着用（運動時以外）
- (4) 手洗い・手指の消毒を行うこと。
- (5) 身体的距離を確保すること。
- (6) 集団での活動、発声、応援及び近距離での会話を避けること。
- (7) スタンドでの食事は原則禁止とする。ただし、熱中症対策として水分補給は可とする。
- (8) COCOAに登録すること。
- (9) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者（大会実行委員会）に報告すること。

2. 来場制限および入場方法について

- (1) 来場制限数については、主競技場収容人数の約50%（1万人）を上限とする。
なお、感染状況により、来場制限を変更する場合もある。
- (2) 来場制限実施方法
 - ア) 大会役員・審判員・補助員・視察員
 - ① 来場者体調記録表【別紙3】と引換えにADカードを配付する。
 - ② 以降は、来場時に検温を行い、ADカードにシールを貼り付けること。
 - イ) 本大会にエントリーした選手・引率者（学校関係者）
 - ① 選手は申込書に記載された者とする。引率者は、参加校1校に対して2名以内とする。
 - ② 来場前2週間の体調の記録を体調記録表【別紙1】に行う。
 - ③ 引率者は、来場日毎に【別紙1】の内容を、学校同行者体調記録表【別紙2】に記録して大会実行委員会に提出する。
 - ④ 学校同行者体調記録表【別紙2】と引換えにADカードを配付する。
 - ⑤ 以降は、来場時に検温を行い、ADカードにシールを貼り付けること。
 - ウ) 都県陸上競技専門部員
 - ① 申込書に記載された監督（5名以内）
 - ② 来場者体調記録表【別紙3】と引換えにADカードを配付する。
 - ③ 以降は、来場時に検温を行い、ADカードにシールを貼り付けること。
 - エ) 競技観戦者（保護者※未就学児除く）
 - ① 選手1名に対して2名以内とする。
 - ② 来場時に観戦者受付で人数等の確認をする。
 - ③ 来場者体調記録表【別紙3】と引換えにリストバンドを配付する。
※来場日毎に行う。
 - オ) 大会関係業者
 - ① 来場者体調記録表【別紙3】と引換えにADカードを配付する。
 - ② 以降は、来場時に検温を行い、ADカードにシールを貼り付けること。

3. 必要携帯品

- (1) マスク…原則として、運動時以外は着用すること。
- (2) 体温計…健康観察用に、各チームまたは個人で持参すること。
- (3) 手指消毒液…学校ベンチに常備し、手指消毒の励行をすること。
- (4) 個人用シート…ストレッチ等で直接地面に接触しないようにするために使用すること。
- (5) 常備用タオル…こまめに手洗い及び洗顔時に使用すること。他人との共用は避けること。
- (6) ゴミ袋…本大会はゴミ箱を設置しません。ゴミの持ち帰り用として準備すること。
- (7) 別紙1：体調記録表
別紙2：学校同行者体調記録表
別紙3：来場者体調記録表
別紙4：同意書 ※大会前に学校長に提出、携帯不要。

4. 入場規制について

- (1) 大会会場では必ずADカードを装着すること。
- (2) 来場2日目以降は検温後、ADにシールを貼って入場すること。
- (3) 受付場所
 - ア) 大会役員・審判員・補助員…主競技場正面玄関（エントランスホール）
 - イ) 選手・引率者・都県監督…都県スタッフベンチ及び1ゲート付近都県受付ブース
 - ウ) 観戦者…1ゲート上コンコース
- (4) 受付日時

8月6日（金）	10時00分～16時00分
8月7日（土）	6時45分～17時00分
8月8日（日）	6時45分～17時00分

5. 入退場口について

- (1) 主競技場
 - ア) 入場口…北サブゲート（200mスタート付近）
 - イ) 退場口…南マラソンゲート（100mゴール付近）
- (2) 補助競技場
 - ア) 入退場口…くまがやドーム側ゲート
別紙「会場関係注意事項」を参照すること。
- (3) 投てき場
 - ア) 入退場口…競技場側ゲート
- (4) メインスタンド
 - ア) 入場口…『1ゲート』
 - イ) 退場口…『2ゲート』

6. 記録の発表について

- (1) 記録の掲示は行わない。公式記録についてはアナウンス及び大型映像で発表後、Webに掲載する。URLについては、プログラムおよび公式ホームページに掲載する。
- (2) 記録の速報については、大型映像で発表する。

7. 表彰について

総合の表彰のみ実施する。種目別は表彰物の受け渡しのみとする。詳細については「式典要項」を参照すること。競技（表彰）終了後、メディアからのインタビューをさせて頂く場合があります。お受けできない場合は、都県委員長を通して事前に大会実行委員会事務局までご連絡をお願いします。

8. 開始式について

- (1) 日時 令和3年8月7日（土） 11時00分～
- (2) 会場 競技場
- (3) その他 参加選手はメインスタンドに着席

9. 閉会式について

閉会式は行わず表彰式のみとする。アナウンスの通告をもって大会終了とする。

10. テント・シートについて

「会場関係注意事項」を参照すること。

11. のぼり旗・応援横断幕の設置について

「会場関係注意事項」を参照すること。

12. ゴミについて (持ち帰りの徹底)

- (1) 本大会はゴミ箱の設置をしない。必ず各自でゴミ袋を用意し、ゴミは全て持ち帰ること。
なお、近隣の店舗等に絶対に捨てないこと。
- (2) 注文した弁当のゴミについては15時00分までに配付所に返却すること。

13. 落とし物・忘れ物について

大会期間中のみ大会実行委員会事務局で保管する。なお、感染症拡大防止の観点から、大会終了翌日に破棄する。

※忘れ物にお気づきの際は、実行委員会事務局にご連絡ください。

14. 大会公式ホームページについて

URL【 <http://zxtenrider.wixsite.com/website> 】

15. 申込後に大会が中止になった場合の対応について

- (1) 参加料及びアスリートビブス代等は理由の如何に関わらず返金しない。
- (2) 宿泊・弁当のキャンセルについては、「宿泊・弁当要項」の規約に準じて対応する。

(別紙1)

体調記録表

学校名 _____

氏名 _____

◎ 自分の体調について、素直に申し出るようにしてください。体調の異変を感じたときは、早めの相談や受診をお願いします。
◎ 下の表の②～④は、症状があればチェック(✓)を記入してください。

	月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	曜 日	()	()	()	()	()	()	()	()	()
① 体 温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
② せき、のどの痛みなど風邪の 症状はない										
③ 体のだるさ、息苦しさはない										
④ 味覚や嗅覚(きゅうかく)の 異常はない										

大会当日

	月 日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	曜 日	()	()	()	()	()	()	()	()	()
① 体 温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
② せき、のどの痛みなど風邪の 症状はない										
③ 体のだるさ、息苦しさはない										
④ 味覚や嗅覚(きゅうかく)の 異常はない										

大会当日の確認項目 (確認できたら右にチェック(✓)を記入してください。)

⑤ 過去14日以内に、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない	
⑥ 過去14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、 地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がない	

学校同行者体調記録表

No.

学校名 _____

記入責任者氏名
(引率者) _____

①発熱(概ね37.5℃以上) ②せき、のどの痛みなど風邪の症状 ③だるさ、息苦しさ ④味覚や嗅覚の異常
⑤同居家族や身近な知人の感染の疑い ⑥感染危険地域への渡航、当該在住者との濃厚接触

	氏名	本日の体温 (℃)	体調記録表(2週間の間)において、 異常がなければチェック(✓)を記入 すること。						緊急連絡先			
			①	②	③	④	⑤	⑥	氏名	続柄	電話番号	
引率者												
引率者												
生徒 1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												

※枠が不足する場合は、用紙を追加してください。

(別紙3)

令和 年 月 日

来場者体調記録表

※ 個人情報取得については、大会終了後に参加者から新型コロナウイルス感染の報告を受けた場合に必要となる拡大予防対策措置のためであり、その目的の達成に必要な範囲内で使用します。
なお、主催者側で1か月程度保管し、その後は破棄します。

区 分	所 属 (学校名等)
大会役員・補助役員・審判員・保護者 その他()	

氏 名	連絡先電話番号(自宅・携帯)

1. 以下の事項に該当するものがありますか。

- ① 体調がよくない(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- ② 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある
- ③ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- ④ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある

該当するものはない ・ 該当するものがある (どちらかに○をつけてください。)

↓

以下へ進む。

↓

本日の参加は見合わせてください。

2. 本日の体温をご記入ください。()℃

3. 前2週間において、以下の事項に該当するものがありますか。

- ① 平熱を超える発熱(概ね37.5℃以上) 有・無
- ② 咳、のどの痛みなどの風邪の症状 有・無
- ③ だるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難) 有・無
- ④ 臭覚や味覚の異常 有・無
- ⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等 有・無

(別紙4)保護者から校長へ提出(学校が保管しておく)

同意書

関東中学校体育連盟 ならびに

学校名 _____

校長名 _____ 様

私は、関東中学校体育大会

_____ 競技に参加するにあたり、健康上の問題はありません。

また、同大会の開催要項、関東中学校体育大会実施上の感染拡大防止
ガイドラインに従い、同大会に参加することを同意します。

令和 年 月 日

参加者名 _____

保護者名 _____ 印

大会当日の緊急連絡先 氏名(続柄) _____ ()

電話番号 _____

(別添2)

関東中学校体育連盟 大会開催における感染防止策チェックリスト (参加生徒用)

大会当日、以下のことをすべて満たしていないと参加できません。

- 体調に問題がない。(発熱、せき等の症状がない。)
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない。
- 過去14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がない。
- 「参加同意書」・「体調記録表」を提出した。

参加生徒が守るべきこと

- マスクを持参すること。
- 競技等実施時・飲食中を除いてマスクを着用すること。(熱中症等の健康被害が発生する可能性が高く、引率者等から外す指示があった場合を除く。)
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 手洗い後に手を拭くためのマイタオルを持参すること。
- 飲食物やタオルは個々に用意し、共用しないこと。
- 人と人との距離を確保すること。(できるだけ2mを目安に、最低1m)
- 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- トイレでは、蓋を閉めて汚物を流すこと。
- 飲食は必要最小限にとどめ、指定場所以外では行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること。
- 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外(例えば走路上)に捨てないこと。
- ゴミはすべて持ち帰ること。
- 唾や痰をはくことは極力行わないこと。
- 大会(試合)前後のミーティング等においても、三つの密(密閉・密集・密接)を避けること。
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、学校や顧問等に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

関東中学校陸上競技大会 緊急時の医療体制及び対応について

【基本方針】

※熊谷スポーツ文化公園陸上競技場内に医務係を配置し、医療関係諸機関に事前に連絡し協力体制を図り、緊急時の医療体制について万全を期す。

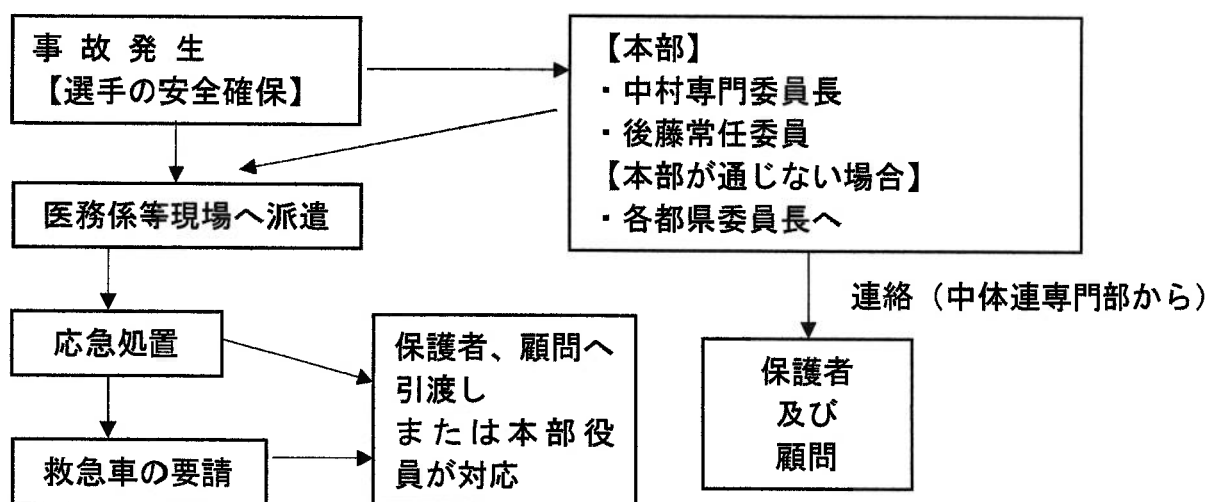
※最悪の状況を想定し、最善の対応に努める。

※補償措置については、大会参加者加入の保険の定めを適用する。

【対応手順】

- 1 状況把握及び選手の安全確保・・・現場付近の指導者
 - (1) 負傷等した選手の保護
 - (2) 二次被害の防止対応
- 2 本部への連絡・・・現場付近の指導者から本部（埼玉県中村委員長、該当都県委員長）へ
 - 事故発生場所、状況等を連絡。
 - 例)「第2曲走路内で選手が1名倒れ、頭部から出血の状況、至急、救護をお願いします。」
- 3 本部からの指示
 - 本部役員、該当都県委員長、医務係1名を現場への派遣を指示する。
 - 応急セット、AED等持参
- 4 医師による応急処置、判断
 - 状況に応じて、対応役員、委員長の判断により救急車要請（中村）⇒病院への搬送
 - 病院へ搬送する場合、引率者は救急車に同乗し病院へ行く。
- 5 保護者への引き渡し
- 6 経過の確認（基本的には、下の①～②の順序・ルートで行う。）
 - 保護者 ⇄ 大会本部 ⇄ 埼玉陸協
 - (①連絡) (②連絡)

【緊急時対応図】



〈医療手当協力病院〉

○医療法人藤和会 藤間病院 〒360-0031 熊谷市末広2-137
Tel. 048-522-0600

○県立循環器・呼吸器病センター 〒360-0105 熊谷市坂井1696
Tel. 048-536-9900

【新型コロナウイルス感染症・参加生徒または指導者の感染が判明した場合】

1 大会前

- ①感染者または濃厚接触者と特定された選手、指導者の参加は認めない。
- ②欠席の場合は、各都県委員長に必ず連絡する。委員長は埼玉県委員長に連絡をする。

2 大会当日

- ①発熱等の症状を訴える参加生徒を確認した場合は、保護者に迎えに来てもらい速やかに帰宅させ、医療機関に電話等で相談するように指導する。
- ②上記①の生徒からの聴取の内容により、対面して一緒に食事をした等の接触があった者についても、念のため会場内における諸活動を中断させ、保護者に迎えに来てもらい帰宅させる。
- ③上記①②によって帰宅した生徒については、翌日以降の参加を見合わせる。

3 大会後

- ①感染者の所属する学校や行政機関の指示に従う。
- ②大会本部及び各都県専門部は、速やかに事故報告書を基に報告書を作成し、埼玉県陸上競技協会と感染者が参加した大会当日に会場内にいたすべての者に連絡をする。
- ③感染者が発生した場合、感染者を特定しようとすることやSNS等で誤った情報を発信することのないよう、全ての関係者に対して指導する。

関東中学校体育連盟 災害等対応要項

1 目的

関東中学校体育連盟主催行事（体育大会、研究大会等）の開催にあたり、自然災害、緊急事態（重大事故、食中毒、感染症等）等、参加者（選手・監督、役員、観戦者）の安全、または行事の開催や運営に支障が生じた場合（予想される場合も含む）参加者の安全を確保するとともに適切な対応を図る。

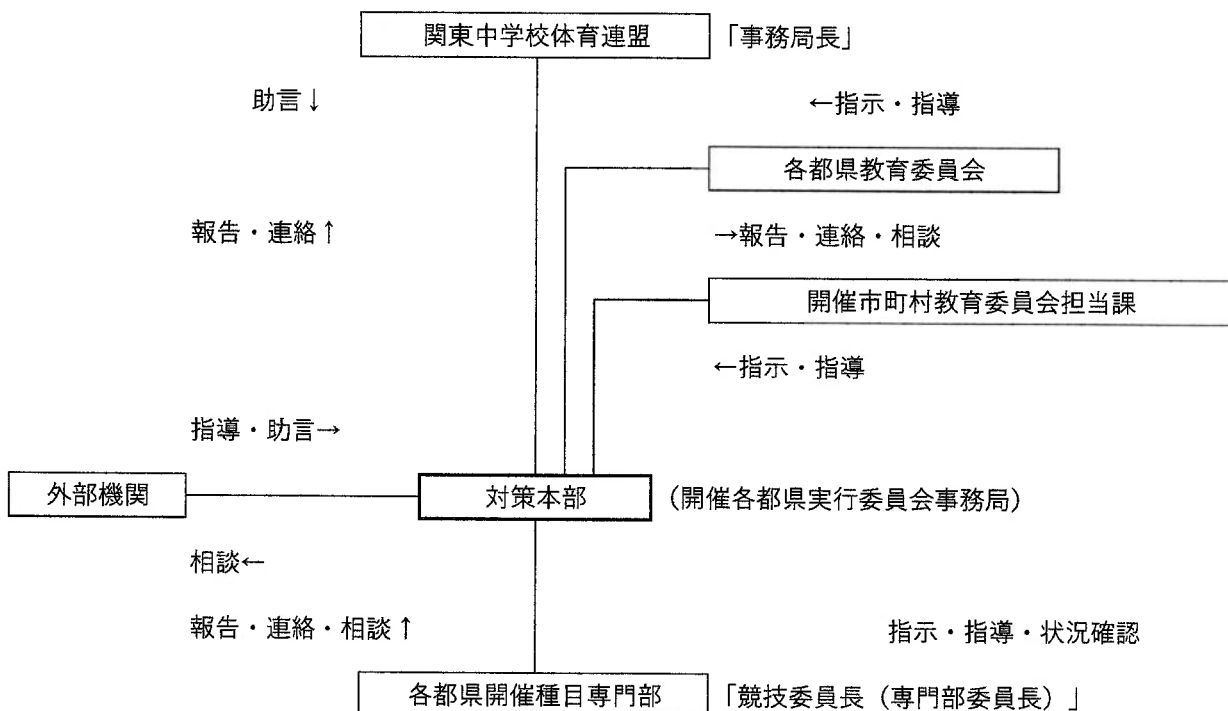
2 基本方針

- (1) 行事の実施に際しては、参加者の安全を最優先し、日程の消化や体育大会における順位の設定等においては柔軟に対応する。
- (2) 災害への対応は、行事の運営責任者のみの判断に頼らず、教育委員会等の行政、警察、消防、保健所等の外部機関への働きかけを積極的に行う。

3 具体的な対応

(1) 対策本部の設置及び指示・連絡系統

- ①対策本部は開催県実行委員会事務局または開催都県（小）中学校体育連盟事務局に置くことを原則とする。
- ②指示・連絡系統は次の図のとおりとし、各窓口は原則的に図に示した者とする。



(2) 報告

次の各項目のうち、該当する事項について書面（様式12）をもって報告することとする。行事名、発生日時、発生場所、発生状況（被害状況）、対象者（被害者）、対処内容、その他必要事項。

(3) 状況対応

①自然災害

ア) 地震や大型の台風などの大規模な自然災害に関しては、対策本部を設置し、各都道府県の災害対策本部から発令される情報などを収集し、参加者の安全を最優先とした対応を図る。

なお、参加者の安全については、行事の期間中だけでなく、往復の移動中も考慮する。

イ) 通常自然災害に関しては、対策本部を設置し、必要に応じて関係機関からの指導・助言を仰ぎ対応を図る。

ウ) 落雷に関しては現場に於ける迅速な対応が求められるので、競技委員長の判断により別紙に示した内容により対応することとする。

②重大事故

ア) 死亡、重体・重傷に結びつく事故が発生した場合は、必要に応じ応急処置を実施するとともに、速やかに医療機関へ搬送する手配を行う。

イ) 体育大会の開催に際しては、医師や看護師、養護教諭などを配置するとともに、競技役員が応急処置に対応できるよう、講習会に参加するなど事前の準備を種目専門部において実施する。

③食中毒

ア) 発症及び発祥の疑いがある場合は、直ちに医療機関に搬送する。

イ) 医療機関、保健所などの指導・助言を受け対応を図る。特に所属校や宿舍などが発生者と同じ参加者の場合は、経過を十分に把握する。

④感染症（インフルエンザ等）

③食中毒に準ずる。

4 その他

(1) 報道機関等への対応は、対策本部の担当者に一本化する。

(2) 体育大会において災害等により日程が消化できない場合に備え、順位の決定や全国大会への出場決定方法を、専門部において予め決定しておく。

自然災害発生時の対応について（陸上大会）

1. 台風接近・記録的な豪雨（警報発令）に伴う申し合わせ事項

大会期間中に、台風が接近又は直撃した場合は、以下のこととする事がある。

- (1) 競技者・競技役員を第一優先として考える。
- (2) 実施不可能と判断した場合、大会の延期または中止とすることがある。
- (3) 危険な種目（棒高跳び・走り高跳び等）については、延期又は中止も考える。
- (4) 場合によっては、タイム決勝とすることがある。
- (5) タイムテーブルを変更することがある。
- (6) 雷雨の場合は、競技を中断することがある。
- (7) テント・横断幕・のぼりの設置は行わない。（風雨のため危険であるため）
- (8) ウォーミングアップは、補助競技場・雨天練習場とする。
- (9) 地域責任者・本部役員より各郡市専門委員長に連絡をする。

2. 停電に伴う申し合わせ事項

大会期間中に、停電が発生した場合は、以下のこととする。

- (1) 大会中に停電がおきた場合は、競技を中断することがある。
- (2) 競技中に停電がおきた場合は、再レースすることがある。
(電気計時のみ公認記録となるため)
- (3) 大会中に停電がおきた場合は、自家発電に切り替えて競技を行うことがある。
- (4) 大会中に停電がおきた場合は、競技場のトイレが使用できなくなる。

3. 雷による対応

- (1) 雷発生時は、安全上の配慮を最優先し、雷鳴が聞こえた時点で直ちに競技を中断する。競技を中断させるために、アナウンサーによる緊急放送と緊急車両を走行させ、選手に対して競技中断を指示する。
- (2) 競技の再開が困難と大会本部で判断した場合は中止または延期とする。
- (3) 競技中断中に競技者が怪我をした場合の選手変更は、理由を問わず一切認めない。

4 地震による対応

- (1) 緊急地震速報を伴わない地震の発生では、走路の亀裂や倒木等、競技に支障を及ぼすような被害がなければ競技を継続する。
- (2) 緊急地震速報が発表された場合は、安全上の配慮を最優先し直ちに競技を中断する。競技を中断させるために、アナウンサーによる緊急放送と走路内に緊急車両を走行させ、競技者に対して競技中断を指示する。
- (3) 競技の再開が困難と大会本部で判断した場合は中止または延期とする。
- (4) 競技を再開する場合は、次の点を考慮して大会本部が決定する。
 - ① 余震のおそれがない。
 - ② 走路のひび割れや倒木等、競技運営に支障がない。
- (5) 競技中断中に競技者が怪我をした場合の選手変更は、理由を問わず一切認めない。

5 降雪による対応

前日から当日朝までに積雪があり、予定通りの競技が不可能と判断した場合は、大会実行委員会が大会当日に実施態度を決定し、大会を延期又は中止することがある。

6 全国瞬時警報システム（Jアラート）による対応

警報が鳴った時点で安全上の配慮を優先し、直ちに競技を中断させる。中断方法は、審判長の指示のもと、アナウンス・関係役員等より選手に通告する。

各校監督・引率者は選手をはじめ、生徒の掌握に努め自校の控え場所近くの建物に避難させる。競技開始が可能な場合は、アナウンス等を通じて競技を再開する。

参考：政府からのJアラートによる情報伝達

- ① 弾道ミサイルが日本に飛来する可能性があるとして判断した場合に、まず、弾道ミサイルが発射された旨の情報を伝達し、避難を呼びかけます。屋外にいる場合は、近くの頑丈な建物や地下（地下街や地下駅舎などの地下施設）に避難して下さい。
- ② その後、弾道ミサイルが日本の領土・領海に落下する可能性があるとして判断した場合には、続報として直ちに避難することを呼びかけます。屋外にいる場合には、直ちに近くの頑丈な建物や地下に避難して下さい。また、近くに適当な建物等がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守って下さい。なお、屋内にいる場合には、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動して下さい。
- ③ その後、弾道ミサイルが日本の領土・領海に落下したと推定された場合には落下場所等についてお知らせします。続報を伝達しますので、引き続き屋内に避難して下さい。

行事等の開催における熱中症予防対策について

埼玉県中学校体育連盟

1 趣 旨

熱中症は、近年の環境変化における重大な問題であり、ときには生命の危険に至ることもある身近に起こりうる病態である。

本確認事項は、埼玉県中学校体育連盟（以下「県中体連」とする）が主催する各種大会及び各種事業等をはじめ、運動部活動や体育授業など学校体育における熱中症予防のひとつの指針として提示するものである。したがって、県中体連各専門部・各支部及び各中学校は、これを元に具体的な予防対策及び対応マニュアル等を作成するなど、適切な防止対策を講じる基本となることを趣旨とする。

2 熱中症とは

「熱中症」とは、高温下での運動や労働のため、発汗機能や循環器系に異常をきたして起こる障害の総称。体温上昇、発汗停止とともに虚脱・けいれん・精神錯乱・昏睡などを起こし、生命の危険を伴うこともある。

これは、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れ、発汗や皮膚からの熱放散による体温調節機能が限界を超えることにより起こるものである。

しかし、適切な予防法と応急処置を行うことで、未然に防いだり、救命したりすることができる病態でもある。

3 熱中症の予防

(1) 環境条件の把握

環境条件の指標は気温、湿度、輻射熱を合わせたWBGT（湿球黒球温度）が望ましい。

【気温の正しい測り方】

- ・ 風通しのよい日かげの場所で測定する。
- ・ 地面や床の照り返しを受けないように、1.2～1.5mの高さに吊す。
- ・ すぐに目盛りを読まず、少なくとも数分間は待ってから測定する。
- ・ 視線が温度計と垂直になるようにして目盛りを読む。
- ・ 湿球温度を測る際は、ガーゼや水壺に十分な水分があることを確認する。

(2) 状況に応じた水分補給と休憩

水分をこまめに補給することが大切なので、指導者のみならず、大会運営者側等からも適切に指導する。このとき、水分だけでなく、体内の塩分も補給できるよう0.1～0.2%程度の食塩水やスポーツドリンクなどが適当である。

「のどが渴いた」と感じるときには、すでにかかなりの水分不足になっていることもあることを理解する。大会運営においては、その進行などを優先することで水分補給の時間を与えないようなことは決してないように、大会役員や審判団と事前に確認しておくこと。

また休憩は、積極的に早めにとるようにし、日かげや冷房の効いた場所など、体温を下げる効果のある場所や施設をあらかじめ設定しておき、有効に使う。

表 1 運動強度と水分補給の目安

運動の種類	運動強度		水分摂取量の目安	
	運動強度 (最大強度の%)	持続時間	競技前	競技中
トラック競技 バスケット サッカーなど	75~100%	1時間以内	250~500ml	500~1000ml
マラソン 野球など	50~90%	1~3時間	250~500ml	500~ 1000ml/1時間
ウルトラマラソン トライアスロン など	50~70%	3時間以上	250~500ml	500~ 1000ml/1時間 必ず塩分を補給

(日本体育協会 2006)

(3) 児童・生徒の体調管理と把握

熱中症を予防する上で、児童・生徒の体調を整えておくことが必要である。そこで、各校の指導者は保護者等と連携を図る中で、次のような内容を把握及び指導する。また、大会運営においては、各校に周知徹底する中で、体温計などの症状把握に必要となる物品を準備する。

- ・ 運動前後に体重を計測し、著しい減少（通常時の2%以上の減少）がないか。
- ・ 睡眠時間は充分にとれているか。
- ・ 発熱や下痢、かぜ、過労などの症状はないか。
- ・ 過去に熱中症を起こしたことがあるか。
- ・ 衣服などは、熱放散を妨げるようなものでないか。
- ・ その他、最近の活動量や活動時の様子から気になることはないか。

(4) 熱中症予防のための運動指針

高温下における運動中止の判断については、(公財)日本体育協会の指針を参考にする。

表 2 熱中症予防のための運動指針 (日本体育協会 2006)

WBGT (°C)	湿球温 (°C)	乾球温 (°C)	熱中症予防のための運動指針	
			運動は 原則中止	WBGT31°C以上では、皮膚温度より気温のほうが高くなり、体から熱を逃すことができない。特別の場合以外は中止。
3.1	2.7	3.5	厳重警戒	熱中症の危険が高いので、激しい運動や持久走などは避ける。体力の低い者、暑さに慣れていない者は運動中止。運動する場合は積極的に休息をとり、水分補給。
2.8	2.4	3.1	警戒	熱中症の危険が増すため、積極的に休息をとり、水分補給。激しい運動では、30分おきぐらいに休息。
2.5	2.1	2.8	注意	死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意しながら、運動の合間に水分補給。
2.1	1.8	2.4	ほぼ安全	通常は熱中症の危険は少ないが、水分補給は必要。市民マラソンなどではこの条件でも要注意。

4 熱中症患者発生時の対処

熱中症患者の発生が疑われた時には、死に直面した緊急事態であることをまず認識する。しかし、あわてずに速急の対応を行うことをこころがける。

応急処置は、患者の症状をよく観察してその重症度を判断する。ただし、状況がはっきりしなかったり、より重い症状が疑われたりするときには、重症度の高いものとして対応する。

5 現場での応急処置

熱中症が起きたときには、直ちに救護係（養護教諭・看護師など）に連絡をとり、現場の教員と協力をして、緊急に応急処置を行う。

重症の場合は救急隊を呼ぶことはもとより、現場でできるだけ早く体を冷やし始めること。

(1) 涼しい環境への避難・運搬

風通しのよい場所や日かげ、冷房の効いている室内などに避難させる。

(2) 体の冷却

重症者を救命できるか否かは、いかに早く体温を下げられるかにかかっている。次のような体温を下げる手だてを行いながら救急隊を待つこと。

- ・ 衣服をゆるめて体からの熱放散を助ける。
- ・ 皮膚が露出している部分に水をかけたり、うちわや扇風機で扇いだりする。
- ・ 氷嚢などを首や脇の下、大腿の付け根などに当てて皮膚直下の血液を冷やす。

(3) 水分・塩分の補給

意識がはっきりしている場合には、冷たい飲物を与え、水分の補給をする。このとき体内の塩分も補給できるよう 0.1～0.2%程度の食塩水（水 1 L に 1～2 g の食塩）やスポーツドリンクなどが適当である。

また、意識障害があったり、吐き気があったりする場合は、無理に飲ませてはいけない。

(4) 医療機関への搬送

自力で水分摂取ができない状態のときは、緊急に医療機関の受診が必要な状況である。このときは、直ちに搬送することを最優先する。つまり、Ⅱ度ないしⅢ度の症状が疑われるときは、現場で様子を見るのではなく、急いで医療機関へ運ぶこと。

また、患者が児童・生徒の場合は保護者にできるだけ早く連絡をとること。

表 3 熱中症の重症度と症状

重症度	状 況	主 な 症 状
軽症 (Ⅰ度)	現場での応急処置で対応可能	めまい、立ちくらみ、失神、筋肉の硬直 こむら返り、大量の発汗 など
中等症 (Ⅱ度)	病院への搬送を必要とする	頭痛、気分不快、吐き気、嘔吐、倦怠感 虚脱感 など
重症 (Ⅲ度)	入院治療が必要	意識障害、手足の運動障害、けいれん 高体温（体に触ると熱い） など

6 専門委員長（大会本部）の事後報告

各種大会及び各種事業中に熱中症による患者が発生し、医療機関へ搬送する事態が起きた場合、専門委員長（大会本部）は、まず患者の救命を第一に行動する。また、このことにより大会運営に支障があるときは、その後の対応について専門部（大会本部）で協議し決定する。

患者発生、応急処置等の対応、その後の患者の病状、大会運営への影響などについての状況報告を県中体連事務局（または理事長）へ報告する。このとき、書面をもって報告を要請する場合もある。

参考文献

- | | |
|-------------------------|---------------|
| ・「熱中症環境保健マニュアル 2009」 | 環境省環境保健部環境安全課 |
| ・「環境省熱中症予防情報サイト」 | 環境省及び国立環境研究所 |
| ・「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」 | (財)日本体育協会 |
| ・健康ポータルサイト「health クリック」 | 株式会社ヘルスクリック |

行事の開催における落雷事故の防止について

－関東中学校体育連盟－

1 基本方針

- (1) 落雷に関しては、現場における迅速な対応が求められるので、競技委員長の判断により適切な対応をとることとする。
- (2) 落雷の予兆があった場合は、屋外での活動は直ちに中止し、危険性がなくなると判断されるまで、参加者を安全な場所に避難させる。
- (3) 2における活動には、式典や試合だけでなく、終了後の参加者の移動や帰宅も含むものとする。

2 落雷の予見及び行事の中止について

- (1) 事前の天気予報を確認し、気象情報を把握しておく。
- (2) 雷鳴が聞こえた場合、直ちに活動を中止し、参加者（選手・監督、役員、観戦者）を安全な場所に避難させる。
- (3) 雷鳴が聞こえなくなった後、20分間は活動を再開せず安全を確認する。

3 避難場所について

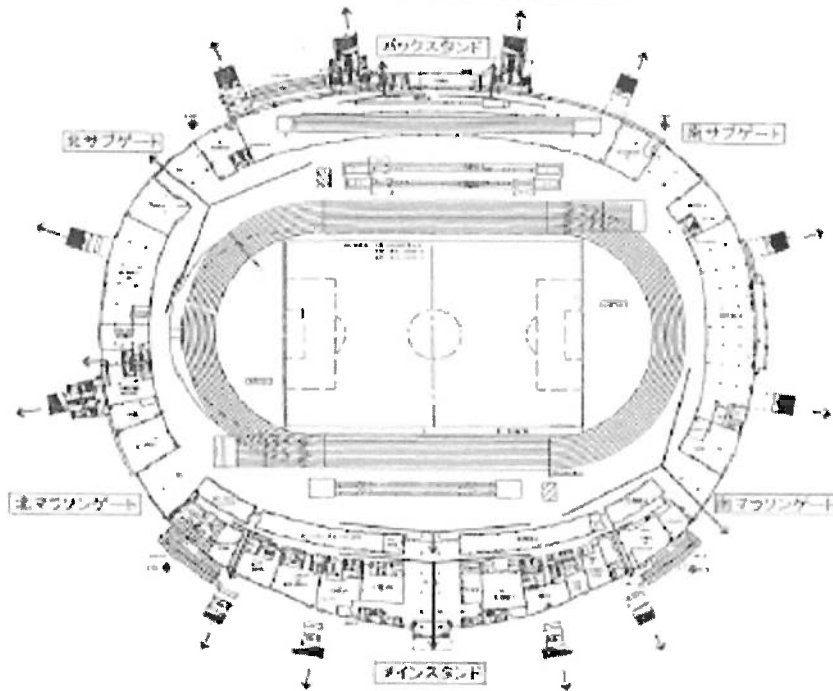
- (1) 参加者を避難させる安全な場所については、具体名を示し、場所を限定する。
- (2) 「安全な場所」とは、自動車、バス、列車、鉄筋コンクリート建築の内部を指す。
- (3) 本格的な木造建築の内部も安全であるが、テントやトタン屋根の小屋等は屋外と同様に落雷の被害を受ける危険性がある。
- (4) 軒先への避難は、表皮効果（建物の外側は電流が流れやすい）により危険であり、避難させてはならない。
- (5) 樹木の下は落雷を受けやすいため避難させてはならない。

4 その他

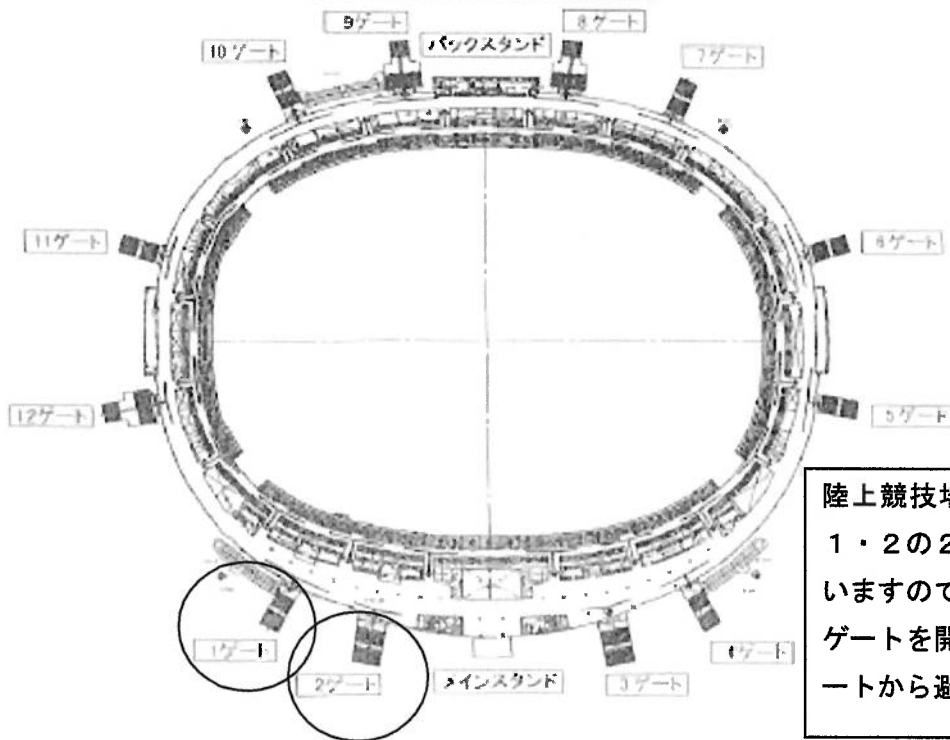
- (1) 屋内の行事についても、落雷により終了後の参加者の移動や帰宅において、その安全が確保されないと判断される場合は、屋内にとどませるなどの処置をとる。
- (2) 避難場所が確保されない会場での行事の実施は計画してはならない。

第49回関東中学校陸上競技大会当日の避難経路について

陸上競技場1F避難経路図



陸上競技場2F避難経路図



陸上競技場2階については、
1・2の2つのゲートが開いて
いますので、緊急時には全ての
ゲートを開放します。近くのゲ
ートから避難してください。

令和3年度第49回関東中学校陸上競技大会 宿泊・昼食弁当要項 (案)

このたびは、「第49回関東中学校陸上競技大会」へのご出場、誠におめでとうございます。

今大会の宿泊・昼食弁当などのお申込みにつきましては、名鉄観光サービス(株)さいたま支店にて担当させていただきます。

下記、申込み要項をご覧いただき、お早めにお申込みくださいます様、よろしくお願い申し上げます。

※名鉄観光サービス(株)の募集型企画旅行になります。

1. 宿泊・昼食弁当ご案内

(1) 適用期間

・宿泊料金の適用期間は8月6日(金)・7日(土)の2泊分となります。

・昼食弁当の申込みは、8月7日(土)・8日(日)の2日分となります。

(2) 対象者

この要項の適用対象者は、大会に参加する監督・コーチ・生徒(競技人・付添人)・バス運転手です。

以下、「大会参加者」とします。

(3) 宿泊ホテルについては会場周辺地域を中心に各都県でまとめてご案内をさせていただきます。部屋については、同都県内で監督コーチと生徒(男女別)で別々にしますが、学校別の対応などは出来かねる場合がございます。また、オリンピック期間、夏休みシーズンでもありますのでご希望に添えない場合もございます。ご了承ください。

(4) 宿泊ホテルについては熊谷・深谷・本庄・籠原・行田・羽生・東松山地区を中心にご案内をいたしますが、場合により周辺地域でののご案内となる場合もございます。

(5) 宿泊料金は1泊2食9,500円・11,000円・12,000円の3ランクでののご案内を予定しております。

(6) 各宿泊ホテルの朝食開始時間はホテル決定通知にてご案内させていただきます。ホテル決定後、時間の関係で朝食が召し上がれない場合には事前にお知らせください。欠食の対応をいたします。

また、一部夕食のご準備が出来ないホテルがございます。

(7) 昼食弁当

①1個850円(お茶付・税金込)にて競技会場の名鉄観光デスクでお引替えいたします。(11時~13時)

②会場周辺には食事施設が少ない為、宿泊と併せて昼食弁当をお申込みくださいます様お願いいたします。

③ご注文以外の当日販売は行いませんのでご了承ください。

2. 申込手続き及びお支払い方法のご案内

(1) お申込みは7月1日(木)~30日(土)にWEBで受付をいたします。

出場が決定次第、下記URL又はQRコードよりアクセスください。参加者名簿の登録もお願いします。

宿泊・弁当予約サイト <http://www.mwt-mice.com/events/kanto-rikujo49>

(URLは7月1日(木)より稼働開始)



- (2) お申込みに必要な情報は ①学校名 ②引率代表顧問のお名前 ③引率代表顧問の連絡先(住所、電話番号(携帯)、メールアドレス) ④宿泊人数(先生・生徒男女別) ⑤アクセス方法(公共機関・バスなど) ⑥お弁当の個数などです。
- (3) お申込登録後、ホテルが確定次第、決定通知をご連絡いたします。宿泊・予約サイトに再度、ログイン後、「予約内容確認書」にて確認いただき、8月2日(月)までに確定ホテルとご請求金額をご確認のうえ、お近くの金融機関にてお振込みください。お振込み後の変更により追加の金額が発生した場合には原則として後日振込で対応をさせていただきます。
- (4) 決定通知お知らせ後、宿泊券・お弁当引換券を画面上でご確認いただき、印刷して当日お持ちください。郵送物はありません。システム上で確認・印刷をお願いします。
- (5) 当日のお支払いはお受けできません。
- (6) お客様のお振込み控えを領収書の代わりとさせていただきます。別途領収書が必要な方は予約サイトに希望を入力できます。ご確認・ご入力ください。大会終了後、郵送いたします。

3. 変更・取消について

お申し込み後の変更は、宿泊・弁当予約サイトに「ログイン」後、「申込者情報」よりご変更ください。集計の都合上、システム画面上での「変更・取消」は7月25日（金）17:00までとさせていただきます。以降の変更・取消はメール又はFAXにてご連絡ください。お電話での変更・取消はご遠慮ください。

お申込以降、お客様のご都合により変更・取消しをする場合につきましては、下記の取消料を申し受けます。
※土・日及び営業時間外のお取消は翌営業日扱いとなりますのでご注意ください。

取消日	10日前迄	9～4日前迄	3～2日前迄	前日	当日	無連絡不参加
宿泊	無料	宿泊料金の20%	宿泊料金の30%	宿泊料金の40%	宿泊料金の100%	100%
弁当	無料	無料		475円(50%)	100%	100%

- ①宿泊当日12時までに取消の連絡が無い場合は無連絡不参加として取り扱い、100%の取消料を申し受けます。
- ②お申込み後の変更・取消につきましては、必ずご連絡ください。
(大会期間中は、会場内の名鉄観光デスクにて承ります。)
- ③変更・取消により生じた差額は、申込書に記載していただいたお客様指定の口座へ、大会終了後にご返金させていただきます。
- ④緊急事態宣言やコロナ陽性診断等によりキャンセルをされる場合も原則として取消料の対象となります。





4. 個人情報の取り扱い

弊社は、お申込みの際に提出された申込書等に記載の個人情報について、お客様との間の連絡の為に利用させていただくほか、お客様がお申込みいただいた旅行において、宿泊機関等の提供するサービスの手配および、それらのサービスの受領の為に手続きに必要な範囲で利用させていただきます。

5. 旅行条件（募集型企画旅行契約）

本大会にご案内する宿泊プランは名鉄観光サービス株式会社（以下当社といいます）が企画実施する旅行であり宿泊をお申込みいただきます方は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。契約の内容・条件およびその他詳細につきましては、当社店頭または名鉄観光ホームページにてご確認のうえお申込みください。「http://www.mwt.co.jp/info/joken_jpn.pdf」旅行条件、旅行代金は2021年6月24日現在を基準としております。

申込先・問合せ先

<p>《旅行企画・実施》 名鉄観光サービス株式会社 さいたま支店 「第49回関東中学校陸上競技大会」 宿泊係 担当：本図（もとず）・須永（すなが） 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-333-13 OLSビル13F TEL：048-641-5388 FAX：048-641-5287 メールアドレス：2021kanto@mwt.co.jp 営業時間：平日9:30～17:30（土・日曜日・祝日定休） ※大会専用緊急連絡先090-1474-5978 <7月26日より大会終了日まで></p>	   <p>旅行業公正取引 協議会 会員</p> 
---	--